

防 災 編

第1章 災害の発生状況

1 平成22年中の災害発生状況

(1) 人的被害

死者1人、重傷者7人、軽傷者15人

(2) 住家被害

全壊0棟、半壊0棟、一部破損2棟、床上浸水0棟、床下浸水21棟

第1表 平成22年中の災害発生状況

| 発生年月日 区分 | | 災害名 | | 大雪 | 強風 | 大雨 | 強風 | 強風 | 大雪 | 計 | |
|-------------|-------|-------|----|-------|-------|-------|--------|-------|------------|----|----|
| | | | | 1月～3月 | 3月21日 | 9月15日 | 11月29日 | 12月3日 | 12月25日～31日 | | |
| 人的被害 | 死者 | 人 | | 1 | | | | | | 1 | |
| | 行方不明者 | 人 | | | | | | | | 0 | |
| | 負傷者 | 重傷 | 人 | | 6 | | | 1 | | | 7 |
| | | 軽傷 | 人 | | 12 | | | | | 3 | 15 |
| 住家被害 | 全壊 | 棟 | | | | | | | | 0 | |
| | | 世帯 | | | | | | | | 0 | |
| | | 人 | | | | | | | | 0 | |
| | 半壊 | 棟 | | | | | | | | | 0 |
| | | 世帯 | | | | | | | | | 0 |
| | | 人 | | | | | | | | | 0 |
| | 一部破損 | 棟 | | | 1 | | | | 1 | | 2 |
| | | 世帯 | | | 1 | | | | 1 | | 2 |
| | | 人 | | | 0 | | | | 0 | | 0 |
| | 床上浸水 | 棟 | | | | | | | | | 0 |
| | | 世帯 | | | | | | | | | 0 |
| | | 人 | | | | | | | | | 0 |
| 床下浸水 | 棟 | | | 5 | | 16 | | | | 21 | |
| | 世帯 | | | 5 | | 15 | | | | 20 | |
| | 人 | | | 0 | | | | | | 0 | |
| 非住家 | 公共建物 | 棟 | | | | | | | | 0 | |
| | その他 | 棟 | | 5 | 1 | | 3 | 2 | | 11 | |
| その他 | 田 | 流失・埋没 | ha | | | | | | | 0 | |
| | | 冠水 | ha | | | | | | | 0 | |
| | 畑 | 流失・埋没 | ha | | | | | | | 0 | |
| | | 冠水 | ha | | | | | | | 0 | |
| | 学校 | 箇所 | | | | | | | | 0 | |
| | 病院 | 箇所 | | | | | | | | 0 | |
| | 道路 | 箇所 | | | | | | | | 0 | |
| | 橋りょう | 箇所 | | | | | | | | 0 | |

| 発生年月日 区分 | | 災害名 | | 大雪 | 強風 | 大雨 | 強風 | 強風 | 大雪 | 計 |
|----------------|------------|-----|----|-------|-------|-------|--------|-------|------------|---|
| | | | | 1月～3月 | 3月21日 | 9月15日 | 11月29日 | 12月3日 | 12月25日～31日 | |
| そ の 他 | 河川 | 箇所 | | | | | | | | 0 |
| | 港湾 | 箇所 | | | | | | | | 0 |
| | 砂防 | 箇所 | | | | | | | | 0 |
| | 清掃施設 | 箇所 | | | | | | | | 0 |
| | 崖くずれ | 箇所 | | | | | | | | 0 |
| | 鉄道不通 | 箇所 | | | | | | | | 0 |
| | 被害船舶 | 隻 | | | | | | | | 0 |
| | 水道 | 戸 | | | | | | | | 0 |
| | 電話 | 回線 | | | | | | | | 0 |
| | 電気 | 戸 | | | | | | | | 0 |
| ガス | 戸 | | | | | | | | 0 | |
| 火災発生 | 建物 | 件 | | | | | | | | 0 |
| | 危険物 | 件 | | | | | | | | 0 |
| | その他 | 件 | | | | | | | | 0 |
| り | 災世帯数 | 世帯 | | | | | | | | 0 |
| り | 災者数 | 人 | | | | | | | | 0 |
| | 公立文教施設 | 千円 | | | | | | | | 0 |
| | 農林水産業施設 | 千円 | | | | | | | | 0 |
| | 公共土木施設 | 千円 | | | | | | | | 0 |
| | その他の公共施設 | 千円 | | | | | | | | 0 |
| | 小計 | 千円 | | | | | | | | 0 |
| | 公共施設被害市町村数 | 団体 | | | | | | | | 0 |
| そ の 他 | 農産被害 | 千円 | | | | | | | | 0 |
| | 林産被害 | 千円 | | | | | | | | 0 |
| | 畜産被害 | 千円 | | | | | | | | 0 |
| | 水産被害 | 千円 | | | | | | | | 0 |
| | 商工被害 | 千円 | | | | | | | | 0 |
| | その他 | 千円 | | | | | | | | 0 |
| | 被害総額 | 千円 | | | | | | | | 0 |
| 都道府県 災害対策本部 | 設置 | | なし | | | | | | | |
| | 解散 | | なし | | | | | | | |
| 災害対策本部設置市町村 | | | なし | | | | | | | |
| 災害救助法適用市町村 | | | なし | | | | | | | |
| 消防職員出動延人数 | | 人 | 3 | | | | | | 3 | 6 |
| 消防団員出動延人数 | | 人 | 0 | | | | | | | 0 |

2 過去5年間の災害発生状況

| 年月日 | 種類 | 被害状況 | 気象状況 |
|--|---------------|--|--|
| 2005 (平17) 12.13 ～ 2006 (平18) 3.31 | 平成18年 豪雪 | (1) 人的被害 死者 14名 重傷 36人 軽傷 126人 (2) 住家被害 全壊1棟1世帯1人 半壊4棟3世帯4人 一部破損 390棟104世帯219人 (3) 非住家被害 公共建物 6棟 その他 103棟 (4) 公共施設被害 482,710千円 (5) 農産被害 32,973千円 (6) 林産被害 506,145千円 (7) 畜産被害 2,400千円 (8) その他 69,111千円 (9) 被害総額 1,093,339千円 (10) 災害対策本部設置市町 永平寺町、池田町 | 12月中旬から続いた断続的な強い寒気の流れ込みにより、強い冬型の気圧配置が1月中旬まで続いた。 【12月】 12日～14日、強い寒気(氷点下36℃以下)が福井県上空に流れ込み、強い冬型の気圧配置が持続したため、嶺北全域と嶺南東部を中心に大雪 17日～18日、非常に強い寒気(氷点下40℃以下)が福井県上空に流れ込み、冬型の気圧配置が強まり、山沿い・山間部を中心に大雪 22日、強い寒気(氷点下38℃以下)が福井県上空に流れ込み、冬型の気圧配置が強まり、山沿い・山間部や嶺南を中心に24日朝にかけて大雪 【1月】 3日～8日、強い寒気(氷点下36℃以下)が福井県上空に流れ込み、冬型の気圧配置が強まった。 7日は福井で20cmの日降雪量を観測 22日～23日、強い寒気(氷点下38℃以下)が福井の上空に流れ込み、一時冬型の気圧配置が強まった。 各地の最深積雪は、敦賀73センチ(12月23日)、大野市九頭竜241センチ(12月27日)、福井95センチ(1月8日)、大野162センチ(1月10日)、南越前町今庄174センチ(1月8日)、越前市武生92センチ(1月8日)、小浜43センチ(1月8日)。 |
| 2006 (平18) 7.18～ 7.19 | 平成18年 7月豪雨 | (1) 人的被害 死者2名 (2) 住家被害 全壊3棟3世帯11人 半壊1棟1世帯6人 一部破損5棟5世帯16人 床上浸水3棟3世帯7人 床下浸水196棟196世帯334人 (3) 非住家被害 その他 1棟 (4) 被害箇所 道路 186箇所 河川 147箇所 崖くずれ 49箇所 電話 8回線 電気 900戸 ガス 980戸 (5) り災 り災世帯 7世帯 り災者 24人 (6) 公共施設被害 3,371,991千円 | 15日から24日にかけて梅雨前線が北陸付近に停滞し活動が活発化したため、大雨となった。特に15日夜から19日明け方にかけて断続的に降り続き、5日間の総降水量は勝山で477ミリに達したほか、嶺北各地で400ミリを超えた。 |

| | | | |
|---------------------------------|----|--|--|
| | | (7) 農産被害 10,502 千円 (8) 林産被害 560,800 千円 (9) その他 25,800 千円 (10) 被害総額 3,969,093 千円 (11) 災害対策本部設置市町村 福井市、鯖江市、あわら市、 越前市、坂井市、永平寺町、 越前町 | |
| 2006 (平 18) 8. 21 | 大雨 | (1) 人的被害 なし (2) 住家被害 床下浸水 1 棟 | 21 日は南から湿った空気が入り大気の状態が不安定となり、福井では 2 日間で 30 ミリの雨となったが、敦賀では小雨程度だった。 |
| 2006 (平 18) 9. 6~ 9. 7 | 大雨 | (1) 人的被害 なし (2) 住家被害 なし (3) 公共施設被害額 10,370 千円 | 前線の活動が活発となった 6 日は、福井で月最大 24 時間降水量、美山および勝山で日降水量の 9 月の記録を更新する大雨となった。 6 日 08 時の降り始めから 8 日 03 時の降り終わりまでの総雨量は多いところで 200 ミリを超えた。(福井市美山 235 ミリ、坂井市春江 176 ミリ、越前市武生 182 ミリ、福井 165 ミリ、勝山 152 ミリ) |
| 2007 (平 19) 2. 15 | 高波 | (1) 人的被害 なし (2) 住家被害 床上浸水 1 棟 (3) り災 り災世帯 1 世帯 り災者 2 人 | 15 日 09 時、北海道西方海上に発達した低気圧があり東進した。一方東シナ海に中心を持つ高気圧が日本付近に張り出していた。 このため日本付近は強い冬型の気圧配置となっていた。沿岸では、大しけとなった。 |
| 2007 (平 19) 5. 10 | 暴風 | (1) 人的被害 軽傷 2 人 (2) 住家被害 なし (3) 非住家被害 公共建物 3 棟 その他 4 棟 (4) 公立文教施設被害 12,190 千円 (5) その他公共施設被害 1,095 千円 (6) その他の被害 - 716 千円 (7) 被害総額 14,001 千円 | 前線を伴った低気圧が、若狭湾から県内を通過し東進した。このため嶺南地方では低気圧通過直後一時的に北よりの暴風となった。 (日最大瞬間風速) 福井 23.3m/s(北北西) 16時11分 敦賀 31.4m/s(北) 16時15分 |
| 2007 (平 19) 6. 22 | 大雨 | (1) 人的被害 なし (2) 住家被害 なし (3) 農林水産業施設被害 6,149 千円 | 22 日 09 時、東北南部から北陸地方を通過して東シナ海にのびる梅雨前線は、日中南下し、県内を通過したため、短時間に強い降水となった。 (日最大 1 時間降水量) 福井 20.0 ミリ、敦賀 8.5 ミリ、 大野市九頭竜 20 ミリ、勝山 18 ミリ (日降水量) 福井 86.5 ミリ、敦賀 44.0 ミリ、 大野市九頭竜 97 ミリ、勝山 90 ミリ |

| 年月日 | 種類 | 被害状況 | 気象状況 |
|--------------------------------|------|---|--|
| 2007 (平19) 6.29～ 6.30 | 大雨 | (1) 人的被害 なし (2) 住家被害 なし (3) 農林水産業施設被害 11,710 千円 (4) 公共土木施設被害 3,000 千円 (5) 被害総額 14,710 千円 | 29日09時、能登沖に前線を伴った低気圧があり、15時には秋田付近、21時には三陸沖に進んだ。これに伴い低気圧からのびる寒冷前線が県内を通過したため、29日に嶺北地方を中心に短時間に激しい降水となった。 (日最大1時間降水量(29日)) 福井28.0ミリ、敦賀20.0ミリ、大野25ミリ、勝山で25ミリ、池田町板垣で30ミリ、大野市九頭竜で33ミリ (日降水量(29日)) 福井71.5ミリ、敦賀35.5ミリ、大野81ミリ、勝山100ミリ、池田町板垣78ミリ、大野市九頭竜99ミリ |
| 2007 (平19) 7.14～ 7.15 | 台風4号 | (1) 人的被害 なし (2) 住家被害 なし (3) その他の被害 98 千円 | 14日には台風第4号が大隅半島に上陸し、その後本州の南岸を東進した。15日は南から暖かく湿った空気が入り、梅雨前線の活動が活発となった。 14日～15日にかけての降水量は、大野市九頭竜で123ミリを観測した他、県内各地で50ミリ前後となった。 |
| 2008 (平20) 6.28 | 大雨 | (1) 人的被害 なし (2) 住家被害 なし (3) 農林水産業施設被害 2,500 千円 | 28日21時には前線を伴った低気圧が対馬海峡にあって東に進み、29日には前線が西日本から東海地方に停滞した。 このため、県内では強い雨が降り、奥越では降り始めからの総降水量が100ミリを超える大雨となった。 (日最大1時間降水量(29日)) 大野23.0ミリ、越廼22.5ミリ、武生20.0ミリ (日降水量(29日)) 九頭竜118.5ミリ、大野89.0ミリ、今庄86.0ミリ、勝山84.5ミリ |
| 2008 (平20) 7.8 | 大雨 | (1) 人的被害 なし (2) 住家被害 床上浸水2棟 (3) 災世帯 2世帯 (4) 農林水産業施設被害 1,000 千円 | 上空の寒気を伴った気圧の谷の影響で大気の状態が不安定となり、午前中を中心に短時間に激しい雨となった。 (最大1時間降水量(8日)) 美浜47.0ミリ、福井44.0ミリ、美山40.5ミリ |
| 2008 (平20) 7.27 | 突風 | 人的被害 死者 1人 重傷 1人 軽傷 10人 | 日本海の前線に向かって暖かく湿った空気が流れ込み、大気の状態が不安定となった。 このため、積乱雲が発達し、積乱雲通過時に突風が発生した。 突風をもたらした現象はガストフロント、強さは藤田スケールでF0と推定される。 (日最大風速(27日)) 敦賀 16.2m/s(西北西) 12時56分 (日最大瞬間風速(27日)) 敦賀 29.7m/s(西北西) 12時49分 |

| 年月日 | 種類 | 被害状況 | 気象状況 |
|------------------------|-------|--|--|
| 2008 (平20) 7.28 | 大雨・落雷 | (1) 人的被害 なし (2) 住家被害 床下浸水1棟 (3) 公共施設被害 133千円 | 山陰沖から能登半島にかけて前線が停滞しており、前線に向かって暖かく湿った空気が流れ込み、大気の状態が不安定となった。 このため、嶺北地方を中心に雷を伴い短時間に非常に激しい雨となった。 (日最大1時間降水量(28日)) 越廼67.5ミリ、武生51.5ミリ、今庄36.5ミリ (日降水量(28日)) 越廼89.5ミリ、武生74.5ミリ、今庄63.5ミリ |
| 2008 (平20) 8.9 | 落雷 | (1) 人的被害 なし (2) 住家被害 なし (3) 農林水産業施設被害 3,413千円 | 大気の状態が不安定となり、嶺北地方で雨雲が発達した。福井市では夜、雷を観測した。 (日最大1時間降水量(9日)) 武生5.0ミリ |
| 2008 (平20) 8.28 | 大雨 | (1) 人的被害 なし (2) 住家被害 床上浸水1棟 (3) り災世帯 1世帯 (4) 農林水産業施設被害 2,000千円 | 福井県付近に前線が停滞し、南から暖かく湿った空気が流れ込み、前線活動が活発となった。 このため、嶺北地方では非常に激しい雨が降り、総降水量が100ミリを超える大雨となった。 (日最大1時間降水量(28日)) 大野64.5ミリ、勝山58.5ミリ、板垣56.5ミリ (日降水量(28日)) 板垣113.5ミリ、勝山97.5ミリ、大野89.0ミリ |
| 2008 (平20) 9.3 | 大雨・落雷 | (1) 人的被害 なし (2) 住家被害 床下浸水1棟 (3) 農林水産業施設被害 2,822千円 (4) 公共施設被害 794千円 | 2日21時には日本海と四国沖に低気圧があって共に北東に進む。 その後3日9時頃には寒冷前線が福井県を通過した。 このため、3日未明から朝にかけて大気の状態が不安定となり、嶺南地方では雷を伴い非常に激しい雨となった。 また、県内では降り始めからの総降水量が100ミリを超える大雨となった。 (日最大1時間降水量(3日)) 美浜52.0ミリ、春江40.5ミリ、武生39.0ミリ (日降水量(3日)) 美浜147.5ミリ、武生123.5ミリ、春江104.0ミリ |
| 2008 (平20) 12.18 | 落雷 | (1) 人的被害 なし (2) 住家被害 なし (3) 農林水産業施設被害 21千円 | 18日は冬型の気圧配置となり上空には寒気が入ったため大気の状態が不安定となった。 福井市では18日朝から昼過ぎにかけて雷を観測した。 (日最大1時間降水量(18日)) 美浜9.5ミリ、武生6.5ミリ |

| 年月日 | 種類 | 被害状況 | 気象状況 |
|---------------------------------|-------|--|--|
| 2009 (平21) 6.22 | 大雨 | (1) 人的被害 なし (2) 住家被害 床下浸水5棟 (3) 公共土木施設被害 596千円 | 22日には活発な梅雨前線の影響で嶺北を中心に激しい雨が降った。 (日最大1時間降水量(22日)) 春江43.5ミリ、三国28.0ミリ、 越廼26.5ミリ (日降水量(22日)) 春江122.0ミリ、三国117.5ミリ、 越廼114.5ミリ |
| 2009 (平21) 8.2 | 大雨 | (1) 人的被害 なし (2) 住家被害 床下浸水20棟 | 上空の寒気や湿った空気が流れ込んだ影響により、大気の状態が不安定となり、2日未明からまとまった雨となった。 (日最大1時間降水量(2日)) 福井56.5ミリ、大飯30.5ミリ (日降水量(2日)) 福井94.0ミリ、大飯63.5ミリ |
| 2009 (平21) 10.7~ 10.8 | 台風18号 | (1) 人的被害 軽傷 2人 (2) 住家被害 一部損壊2棟 床下浸水1棟 (3) 非住家被害 その他1棟 (4) 農産被害 16,276千円 (5) その他被害 50千円 (6) 被害総額 16,326千円 | 7日には台風第18号が四国の南海上に進み、8日5時過ぎには知多半島付近に上陸し、その後、東海地方、関東甲信地方、東北地方を進み、同日夕方に太平洋に達した。 7日~8日にかけての降水量は、おおい町名田庄納田で230ミリ、小浜市遠敷で126ミリを観測した。 |
| 2009 (平21) 12.17~ 3.31 | 大雪 | (1) 人的被害 死者 1人 重傷 9人 軽傷 21人 (2) 住家被害 半壊1棟 一部損壊7棟 床上浸水1棟 床下浸水6棟 (3) 非住家被害 その他4棟 | 中旬後半から下旬にかけて強い寒気が日本付近に南下し冬型の気圧配置となった。このため、奥越を中心に大雪となった。 17日~20日にかけての降雪量の合計は嶺北の平野部では30~60センチ、大野市九頭竜では164センチとなった。最深積雪は20日に大野市九頭竜で143センチを観測した。 |
| 2010 (平22) 3.21 | 強風 | (1) 人的被害 なし (2) 住家被害 なし (3) 非住家被害 その他1棟 | 日本付近は冬型の気圧配置となり西よりの風が強まった。発達した低気圧から伸びる寒冷前線が県内を通過した影響で、県内全域で強風が吹いた。 (日最大風速) 勝山 14.3m/s(北西) 2時00分 (日最大瞬間風速) 勝山 24.6m/s(西北西) 1時53分 |
| 2010 (平22) 9.15~ 9.16 | 大雨 | (1) 人的被害 なし (2) 住家被害 床下浸水16棟 | 日本海の低気圧と本州南岸の低気圧の影響で15日から16日にかけて大雨となった。福井市での15日正午から16日午後4時までの総雨量は125.5ミリに達した。 (日最大1時間降水量(16日)) 福井29.0ミリ (日降水量(16日)) 福井108.0ミリ |
| 2010 (平22) 11.29 | 強風 | (1) 人的被害 重傷 1人 (2) 住家被害 なし (3) 非住家被害 その他3棟 | 上空に強い寒気が入り、大気の状態が不安定となった。 竜巻注意情報が発令され、局地的に突風が吹いた。 (日最大風速) 福井 6.1m/s(南南東) 12時42分 |

| 年月日 | 種類 | 被害状況 | 気象状況 |
|----------------------------------|----|--|--|
| | | | 越廼 7.4 m/s(西北西)14時31分 (日最大瞬間風速) 福井 8.2m/s(南南西)12時35分 越廼 12.7m/s(西北西)11時04分 |
| 2010 (平22) 12.3 | 強風 | (1)人的被害 なし (2)住家被害 一部損壊1棟 (3)非住家被害 その他2棟 | 前線を伴った低気圧が発達しながら通過し、大気の状態が不安定となった。 気圧の谷が西から通過したため、各地で突風が吹いた。 (日最大風速) 福井 13.4m/s(西南西)13時23分 小浜 11.6m/s(西)19時14分 (日最大瞬間風速) 福井 26.3m/s(西南西)13時16分 小浜 19.4m/s(西北西)19時08分 |
| 2010 (平22) 12.25~ 12.31 | 大雪 | (1)人的被害 軽傷 3人 (2)住家被害 なし | 北日本上空に寒気が流れ込み、強い冬型の気圧配置となった。 北陸地方と北日本の日本海側を中心に大雪や猛吹雪の恐れがあるとして、大雪、なだれ、路面凍結、突風、波浪などへの警戒が必要となった。 (日降雪(25日)) 福井18センチ、大野32センチ、九頭竜44センチ、今庄28センチ (日最深積雪(25日)) 福井16センチ、大野40センチ、九頭竜55センチ、今庄30センチ |

第2章 平成22年の天候概況

1 天候の特徴

ー福井県の天候の特徴と気象トピックスー

(冬は嶺北中心に一時大雪、夏は太平洋高気圧の勢力が強く記録的な猛暑)

◇ 年（1月～12月）の概況

気温は夏から秋にかけて高温が顕著で年平均気温は福井、敦賀共に平年より高くなりました。年降水量は福井で平年よりかなり多く、敦賀で平年より多くなりました。日照時間は7月～8月が多く、年間日照時間は福井、敦賀共に平年並となりました。

◇ 台風の発生数は14個(平年値26.7個)で、台風統計開始の1951年以降で最少となりました。接近数は7個(平年値10.8個)、上陸数は2個(平年値2.6個)といずれも平年より少なくなりました。

2 季節のまとめ

◇ 冬(2009年12月～2010年2月)～ 気温の変動大、嶺北で大雪 ～

12月は、中旬頃を中心に冬型の気圧配置が強まり雪の日が続きました。1月は、気圧の谷の通過や冬型の気圧配置の影響で雪や雨の日が多く、特に中旬は嶺北を中心に大雪となりました。2月は、上旬に冬型の気圧配置となる日が多く嶺北の山地を中心に大雪となり、中旬は気圧の谷や寒気の影響で雨や雪の日が多くなりました。

冬の平均気温は、福井で平年並、敦賀で平年より高く、降水量は、福井で平年よりかなり多く、敦賀で平年並、日照時間は、福井で平年並、敦賀で平年より少なくなりました。降雪量は、福井、敦賀共に平年より少なくなりました。

◇ 春(3～5月)～ 気温の変動大・低温(特に4月が顕著)・多雨・寡照～

3月は、低気圧や前線の影響で短い周期で天気が変わり、曇りや雨の日が多くなりました。4月は、低気圧や寒気の影響で曇りや雨の日が多く、低温、多雨、寡照となりました。5月は、移動性高気圧に覆われ晴れた日もありましたが、中旬以降は上空の寒気や気圧の谷の影響で、曇りや雨の日が多くなりました。

春の平均気温は、福井、敦賀共に平年より低く、降水量は、福井で平年よりかなり多く、敦賀で平年より多く、日照時間は、福井、敦賀共に平年よりかなり少なくなりました。

◇ 夏(6～8月)～ 記録的な高温・多照・早い梅雨明け～

6月は、後半に梅雨前線が本州付近まで北上した影響で、曇りや雨の日が多くなりました。6月13日に梅雨入り(平年6月10日)をしました。7月は、前半は梅雨前線が本州南岸や日本海に停滞した影響で、曇りや雨の日が多くなりました。後半は太平洋高気圧が日本付近で強まった

ため、晴れた日が多くなりました。7月17日に梅雨明け（平年7月22日）となりました。8月は、太平洋高気圧に覆われて晴れて暑い日が続きました。特に下旬は顕著な高温・少雨・多照となりました。

夏の平均気温は、福井、敦賀共に平年よりかなり高く、降水量は、福井で平年より少なく、敦賀で平年並、日照時間は、福井、敦賀共に平年よりかなり多くなりました。

◇ 秋(9～11月) ～高温(特に9月、10月の高温顕著)・多雨～

9月は、上旬は太平洋高気圧に覆われ晴れの日が多く残暑が厳しくなりました。中旬以降は前線や気圧の谷の影響で曇りや雨の日が多くなりました。8日に、台風第9号が敦賀市付近に上陸しました。福井県に台風が上陸したのは、統計開始(1951年)以来初めてとなりました。10月は、上旬と下旬は前線や気圧の谷の影響により、天気は短い周期で変わりました。11月は、気圧の谷や寒気の影響で曇りや雨の日が多くなりました。29日は、強い寒気の影響で嶺北を中心に雷雨となり、福井市で突風による被害が発生しました。

秋の平均気温は、福井、敦賀で共に平年より高く、降水量は、福井で平年より多く、敦賀で平年並、日照時間は、福井で平年並、敦賀で平年より多くなりました。

◇ 12月 ～下旬に大雪～

上旬は、気圧の谷や前線の影響により天気は短い周期で変わりました。中旬は、寒気や気圧の谷の影響により、嶺北を中心に雨や雪の日が多くなりました。下旬は低気圧や冬型の気圧配置による影響で、雨または雪の日が多くなりました。

平均気温は福井、敦賀共に平年並、月降水量は、福井で平年よりかなり多く、敦賀で平年より多く、月間日照時間は、福井、敦賀共に平年並になりました。

| 観測項目 | 福 井 | | | 敦 賀 | | |
|------|-------------|-------------|--------------|-------------|-------------|--------------|
| | 平均気温 (℃) | 降水量 (ミリ) | 日照時間 (時間) | 平均気温 (℃) | 降水量 (ミリ) | 日照時間 (時間) |
| 本 年 | 15.0 | 2717.0 | 1618.9 | 15.9 | 2480.0 | 1620.0 |
| 平年値 | 14.3 | 2257.9 | 1610.2 | 15.0 | 2230.7 | 1583.5 |
| 平年差比 | +0.7 | 120% | 101% | +0.9 | 111% | 102% |
| 階級区分 | 高い | かなり多い | 平年並 | 高い | 多い | 平年並 |
| 前 年 | 14.7 | 2067.0 | 1600.0 | 15.6 | 1607.0] ※ | 1492.5 |

※「 ｝」括弧は、資料不足（統計値を求める対象となる資料が足りない）であることを示す。

◇ 台風

台風の発生数は14個(平年値26.7個)で、台風統計開始の1951年以降で最少となりました。接近数は7個(平年値10.8個)、上陸数は2個(平年値2.6個)といずれも平年より少なくなりました。

| 月 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 | 合計 | 平年値 |
|-------|---|---|---|---|---|---|--------|-----------------------|---------------------|----------|----|----|----|------|
| 台風 | | | 1 | | | | 2 | 5 | 4 | 2 | | | 14 | 26.7 |
| (番号) | | | 1 | | | | 2 3 | 4 5 6 7 8 | 9 10 11 12 | 13 14 | | | | |
| 上陸数 | | | | | | | | 1 | 1 | | | | 2 | 2.6 |
| 北陸接近数 | | | | | | | | 1 | 1 | | | | 2 | 2.2 |

* 台風が上陸したかどうかにかかわらず、台風の中心が北陸地方のいずれかの気象官署から300km以内に入った場合を北陸地方への接近としています。

(参考)

過去の台風経路図等の情報は、気象庁及び福井地方気象台ホームページからアクセスできます。

URL <http://www.data.jma.go.jp/fcd/yoho/typhoon/statistics/index.html>

また、福井県の気象概況等は、福井地方気象台HPに掲載しています。

URL <http://www.jma-net.go.jp/fukui/gaikyo/index.html>

2 月別気象概況

◇ 2010年（平成22年）月別気象概況

1月： 気圧の谷の通過やその後の冬型の気圧配置の影響で、雪や雨の日が多くなりました。また、前半に強い寒気が入ったため、気温が低くなりましたが、後半は、冬型の気圧配置が長続きしなかつたため、気温は高めで推移しました。

月平均気温は、福井、敦賀共に平年並、月降水量は、福井で平年並、敦賀で平年より多く、月間日照時間は、福井、敦賀共に平年並となりました。

2月： 月のはじめと中頃に冬型の気圧配置となり気温が低くなりましたが、上旬の後半と下旬には南から暖かい空気が入ったため、気温が高くなりました。期間中気温の変動が大きくなりました。

月平均気温は、福井、敦賀共に平年より高く、月降水量は、福井で平年より多く、敦賀で平年より少なく、月間日照時間は、福井、敦賀共に平年並となりました。

3月： 低気圧や前線の影響で短い周期で天気が変わり、曇りや雨の日が多くなりました。気温は、上旬のはじめと中旬に高く経過しましたが、下旬は上空の寒気の影響で低温となり、気温の変動が大きくなりました。

月平均気温は、福井で平年並、敦賀で平年より高く、月降水量は、福井で平年よりかなり多く、敦賀で平年より多く、月間日照時間は、福井、敦賀共に平年よりかなり少なくなりました。

4月： 前線を伴った低気圧が日本付近を頻繁に通過した影響や上空の強い寒気の流入で、曇りや雨の日が多く、低温で多雨、寡照となりました。

月平均気温は、福井、敦賀共に平年よりかなり低く、月降水量は、福井、敦賀共に平年よりかなり多く、月間日照時間は、福井、敦賀共に平年よりかなり少なくなりました。

5月： 中旬にかけて移動性高気圧に覆われ晴れの日が多くなりましたが、一時的に寒気の影響で天気がぐずつきました。下旬は、太平洋沿岸を東進した低気圧や強い寒気を伴った低気圧が日本海をゆっくり通過した影響で、曇りや雨の日が多くなりました。

月平均気温は、福井、敦賀共に平年より低く、月降水量は、福井、敦賀共に平年並、月間日照時間は、福井で平年より少なく、敦賀で平年並となりました。

6月： 前半は、梅雨前線が日本の南海上に停滞し、本州付近は移動性高気圧に覆われたため、晴れの日が多くなりました。しかし、後半は梅雨前線が本州付近まで北上し、南から暖かく湿った空気が流れ込んだ影響で梅雨前線の活動が活発となり、曇りや雨の日が多くなりました。

月平均気温は、福井、敦賀共に平年より高く、月降水量は、福井で平年より少なく、敦賀で平年並、月間日照時間は、福井で平年より多く、敦賀で平年よりかなり多くなりました。

- 7月：前半は、梅雨前線が本州南岸や日本海に停滞した影響で、曇りや雨の日が多くなりました。3日から4日と12日から13日にかけては梅雨前線の活動が活発となり、県内の多い所で降り始めからの雨量が100mmを超える大雨となりました。月の後半は太平洋高気圧が強まり、晴れた日が多く、厳しい暑さが続いて猛暑日(日最高気温が35℃以上)となった所もありました。月平均気温は、福井、敦賀共に平年より高く、月降水量は、福井で平年並、敦賀で平年より多く、月間日照時間は、福井、敦賀共に平年より多くなりました。
- 8月：太平洋高気圧に覆われて晴れて暑い日が続き、県内各地で日最高気温35℃以上の猛暑日を観測しました。特に下旬は顕著な高温・少雨・多照となりました。また、中旬の前半は、台風第4号や前線の影響で曇りや雨の日がありました。月平均気温は、福井、敦賀共に平年よりかなり高く、月降水量は、福井で平年並、敦賀で平年より少なく、月間日照時間は、福井、敦賀共に平年より多くなりました。
- 9月：今期間、上旬は太平洋高気圧に覆われ晴れの日が多くなりました。中旬と下旬は前線や気圧の谷の影響で曇りや雨の日が多くなりました。8日の午前11時頃、台風第9号が敦賀市付近に上陸しました。県内に台風が上陸したのは、統計開始(1951年)以来初めての記録です。月平均気温は、福井、敦賀共に平年よりかなり高く、月降水量は、福井、敦賀共に平年より多く、月間日照時間は、福井は平年並、敦賀は平年より多くなりました。
- 10月：今期間、上旬は低気圧や前線の影響により、天気は短い周期で変わりました。中旬は高気圧に覆われ、晴れた日が多くなりました。下旬は前線や気圧の谷の影響により、曇りや雨の日が多くなりました。月平均気温は、福井、敦賀共に平年よりかなり高く、月降水量は、福井は平年より多く、敦賀は平年並となりました。月間日照時間は、福井、敦賀共に平年より少なくなりました。
- 11月：上旬と中旬は前線や気圧の谷の影響により天気は短い周期で変わりました。下旬は高気圧に覆われ晴れた日もありましたが、寒気や気圧の谷の影響で曇りや雨の日が多くなりました。29日は昼前から昼過ぎにかけ、強い寒気の影響で嶺北を中心に雷雨となり、福井市で突風による被害が発生しました。月平均気温は福井、敦賀共に平年並、月降水量は、福井は平年並、敦賀では平年より少なくなりました。月間日照時間は、福井は平年より多く、敦賀では平年よりかなり多くなりました。
- 12月：上旬は、短い周期で天気が変わりました。中旬と下旬は、寒気や冬型の気圧配置の影響により、雪や雨の日が多くなりました。月平均気温は福井、敦賀共に平年並、月降水量は、福井は平年よりかなり多く、敦賀は平年より多くなりました。月間日照時間は、福井、敦賀共に平年並になりました。

第3章 防災訓練の実施状況

I 総合防災訓練

平成22年度福井県総合防災訓練を次のとおり実施した。

1 目的

災害対策基本法および福井県地域防災計画に基づき、防災関係機関が協力して迅速・的確に応急対策が実施できるよう訓練会場の特色を活かした実践的な防災訓練を実施する。また、併せて住民の防災に対する意識の高揚を図る。

今年度は大野市に主会場を置き、奥越地域の自治体の参画を得て、地震をはじめとする大規模災害に対応できる広域的な防災体制の確立を図る。

2 日時

平成22年 8月29日(日) 8時30分～12時00分

3 場所

- (1) 主会場 春日野工業団地および奥越ふれあい公園
- (2) 市民訓練会場 小山小学校、有終南小学校、社会福祉法人大野和光園、勝山市教育会館、勝山市健康福祉センター
- (3) 大野市内会場 宝慶寺いこいの森、奥越地域防災基地、赤根川上流

4 主催 福井県、大野市、勝山市

5 訓練参加機関（順不同）

- (1) 国の行政機関
中部管区警察局福井県情報通信部、敦賀海上保安部、東京管区気象台福井地方気象台、近畿地方整備局福井河川国道事務所（TEC-FORCE）
- (2) 自衛隊
自衛隊福井地方協力本部、陸上自衛隊第14普通科連隊、陸上自衛隊第10飛行隊、陸上自衛隊第372施設中隊、航空自衛隊第6航空団、航空自衛隊小松救難隊
- (3) 応援県関係
石川県（防災航空隊）、富山県（防災航空隊）、滋賀県、京都府
- (4) 警察関係
福井県警察本部、大野警察署
- (5) 消防関係
福井県消防長会、大野市消防本部、福井市消防局、敦賀美方消防組合消防本部、若狭消防組合消防本部、勝山市消防本部、鯖江・丹生消防組合消防本部、永平寺町消防本部、嶺北消防組合消防本部、南越消防組合消防本部、大野市消防団
- (6) 医療関係
（社）福井県医師会、（社）大野市医師会、日本赤十字社福井県支部、福井赤十字病院、福井県赤十字血液センター、福井県赤十字救護奉仕団、大野市赤十字奉仕団、福井県無線

赤十字奉仕団、赤十字飛行隊福井支隊、福井大学医学部附属病院、福井県立病院、杉田玄白記念公立小浜病院、福井県腎友会

(7) 交通運輸関係

(社)福井県トラック協会、日本通運(株)福井支店、(社)日本自動車連盟、西日本旅客鉄道(株)、中日本高速道路(株)金沢支社福井保全サービスセンター、

(8) ライフライン関係

西日本電信電話(株)、(株)NTT西日本-北陸、(株)NTT西日本-ホームテクノ北陸、(株)NTTネオメイト、(株)NTTファシリティーズ、(株)NTTドコモ北陸支社、NTTドコモエンジニアリング北陸(株)、北陸電力(株)、大野電業協会、北陸電気保安協会、大野鉄工金属協同組合、大野市管工事業協同組合、(社)福井県エルピーガス協会、福井県高圧ガス地域防災協議会、(社)日本簡易ガス協会近畿支部福井県防災会、関西電力(株)、日本原子力発電(株)、(独)日本原子力研究開発機構

(9) 各種団体

郵便局(株)北陸支社、北陸地方非常通信協議会、福井県災害ボランティアセンター連絡会、NPO法人日本災害救援飛行協会、(福)光明寺福祉会、(福)大野和光園、春日野区自主防災会、宝慶寺

(10) 地元地区関係(大野市住民、勝山市住民)

(11) 福井県

(12) 大野市、勝山市

6 訓練種目(35種目)

交通整理・避難誘導訓練、避難所開設・運営訓練、住民避難訓練、固定翼機による上空からの被害状況調査・通信訓練、セスナによる災害情報収拾訓練、オフロードバイクによる状況確認・衛星携帯電話による情報伝達訓練、自主防災組織による救出救助訓練、道路啓開(開通)訓練、架橋訓練、炊き出し訓練、土砂災害現場における救出救助訓練、県下9消防本部集結訓練、座屈建物救出訓練、応急救助設置・運営訓練、血液および医薬品の緊急輸送訓練、水防訓練、災害ボランティアセンター設置・運営訓練、応急生活物資供給訓練、LPガス漏洩復旧訓練、水道管復旧訓練、電力施設復旧訓練、天然ダム状況調査訓練、防災ヘリによる一時滞在者搬送訓練、通信訓練、緊急時職員参集訓練、災害対策本部設置・運営訓練、情報伝達訓練、隣接地区待機要請および救護班派遣訓練、住民避難訓練、各種体験・展示

7 災害想定

平成22年8月29日午前8時30分頃、福井県嶺北を震源とする地震が発生した。

震源はごく浅く、地震の規模(マグニチュード)は6.9と推定され、大野市の市街地で最大震度6強を観測した。

なお、奥越地方は連日の雨により、赤根川上流において土砂崩れによる一部河道閉塞が起きていたところ、今回の地震で全面閉塞となり天然ダムが発生した。このため、下流の地区などでは河川の氾濫による洪水の可能性が高まった。

また、雨で地盤が緩んだ山間部において、地震を契機に大規模な土砂崩れが発生し、松ヶ谷宝慶寺大野線が寸断されたため、宝慶寺地区のキャンプ客などの一時滞在者が孤立した状態となった。

さらに、大野市の市街地では地震による建物の倒壊が多数発生するとともに、電気・水道・電話などのライフラインが麻痺した状態となった。

II 原子力防災総合訓練

平成22年度原子力防災総合訓練を、次のとおり実施した。

1 目 的

災害対策基本法および原子力災害対策特別措置法に基づき、国、県、関係市町、防災関係機関および地域住民が一体となった原子力防災訓練を実施し、緊急時における通信連絡体制の確立、緊急時医療活動等の災害対策の習熟と、防災関係機関相互の協力体制の強化を図るとともに、住民の原子力防災に対する理解の促進を図ることを目的とする。

2 主 催 福井県、おおい町、小浜市、高浜町

3 実 施 日 平成22年10月26日(火)

4 訓練対象発電所 関西電力(株) 大飯発電所4号機

5 参加・協力機関(順不同)

(1) 国の関係機関等

ア 本省

内閣府原子力安全委員会、経済産業省原子力安全・保安院、地域原子力安全統括管理官事務所(若狭地域担当)、大飯原子力保安検査官事務所、高浜原子力保安検査官事務所、敦賀原子力保安検査官事務所、美浜原子力保安検査官事務所、文部科学省、総務省消防庁

イ 指定地方行政機関等

経済産業省中部近畿産業保安監督部、同近畿経済産業局、中部管区警察局福井県情報通信部、文部科学省敦賀原子力事務所、厚生労働省福井労働局、国土交通省近畿地方整備局福井河川国道事務所、同中部運輸局福井運輸支局、気象庁福井地方气象台、海上保安庁第八管区海上保安本部、同美保航空基地、敦賀海上保安部、福井海上保安署、小浜海上保安署、(独)原子力安全基盤機構、原子力緊急時支援・研修センター

(2) 自衛隊関係

陸上自衛隊第14普通科連隊、陸上自衛隊第372施設中隊、陸上自衛隊第10飛行隊、海上自衛隊舞鶴地方総監部、海上自衛隊第2ミサイル艇隊、海上自衛隊第23航空隊、航空自衛隊第6航空団、自衛隊福井地方協力本部

(3) 自治体関係

石川県、滋賀県、京都府、福井県内各市町

(4) 警察関係

福井県警察本部、小浜警察署

(5) 消防関係

若狭消防組合消防本部、敦賀美方消防組合消防本部、福井市消防局、永平寺町消防本

部、福井県内各消防本部、おおい消防団

(6) 医療機関関係

(社) 福井県医師会、日本赤十字社福井県支部、(社) 福井県放射線技師会、福井県立病院、福井大学医学部附属病院、杉田玄白記念公立小浜病院、社会保険高浜病院、市立敦賀病院、国立病院機構福井病院、レイクヒルズ美方病院、公立丹南病院、福井社会保険病院、福井赤十字病院、福井県済生会病院、市立三国病院、国立病院機構あわら病院、広島大学

(7) 報道機関

日本放送協会福井放送局、福井放送(株)、福井テレビジョン放送(株)、福井エフエム放送(株)、(株)ケーブルテレビ若狭小浜、その他報道機関

(8) ライフライン関係

西日本電信電話(株)福井支店、(株)NTTドコモ北陸支社

(9) 交通運輸関係

(社) 福井県バス協会、中日本高速道路(株)金沢支社、西日本高速道路(株)関西支社、その他バス事業者

(10) 漁業関係

福井県無線漁業協同組合、福井県漁業協同組合連合会、大島漁業協同組合、敦賀市漁業協同組合、美浜町漁業協同組合、若狭三方漁業協同組合、若狭高浜漁業協同組合、河野村漁業協同組合、小浜市漁業協同組合、雄島漁業協同組合、三国港漁業協同組合、三国港機船底曳網漁業協同組合、福井市漁業協同組合、越廼漁業協同組合、越前町漁業協同組合

(11) 原子力事業者関係

関西電力(株)、日本原子力発電(株)、(独) 日本原子力研究開発機構、(財) 原子力安全技術センター、関電プラント(株)、原電情報システム(株)、原電事業(株)

(12) 各種団体等

北陸地方非常通信協議会、(社福) おおい町社会福祉協議会、おおい町赤十字奉仕団、わかさ大飯マリンワールド(株) 他

(13) 主催者

福井県、おおい町、小浜市、高浜町

6 訓練想定

平成22年10月26日、関西電力(株)大飯発電所4号機において、全交流電源喪失および蒸気発生器への給水機能の停止から炉心損傷に至り排気筒から放射性物質が放出され、周辺環境に影響を及ぼすおそれが生じたという想定で、福井県地域防災計画(原子力防災編)等に基づく各種の応急活動を実施する。

7 訓練項目

(1) 緊急時通信連絡訓練

- ア 事故発生から応急処理、復旧までの通信伝達、收受等
- イ 北陸地方非常通信協議会等による情報伝達

- ウ 衛星車載局および携帯型映像伝送装置を利用した画像伝送
- エ ヘリコプターテレビ電送システム（ヘリテレ）を利用した画像伝送

(2) 災害対策本部等運営訓練

- ア 福井県総合防災センター（原子力災害対策本部室）における災害対策本部等の運営および福井県大飯原子力防災センターにおける県現地災害対策本部等の運営
- イ 関係市町における災害対策本部等の運営および福井県大飯原子力防災センターにおける関係市町災害連絡室等の運営
- ウ 災害対策本部と現地災害対策本部との対策会議等の実施

(3) 原子力防災センター運営訓練

- ア 福井県大飯原子力防災センターへの要員派遣
- イ 現地事故対策連絡会議への参画
- ウ 国災害対策本部等との対策会議の実施
- エ 緊急事態対応方針決定会議への参画
- オ 原子力災害合同対策協議会への参画
- カ 各機能班への参画
- キ 現地災害対策本部等と各機能班との連携
- ク 福井県高浜原子力防災センターにおける後方支援の実施

(4) 自衛隊災害派遣運用訓練

- ア 福井県大飯原子力防災センターへの連絡要員の派遣
- イ 知事による災害派遣要請
- ウ 住民の避難援助
- エ 避難者等の搜索
- オ 空中モニタリング支援
- カ 海上モニタリング支援

(5) 緊急時モニタリング訓練

- ア 緊急時モニタリングセンターの設置・運営
- イ 待機施設の設置・運営および後方支援
- ウ 相互応援による職員派遣および資機材の提供
- エ 連続監視・拡散予測
- オ モニタリング要員被ばく管理および資機材等の汚染管理
- カ モニタリングカーによる陸上モニタリング
- キ 船舶による海上モニタリング
- ク ヘリコプターによる空中モニタリング
- ケ 高機能モニタリングカーによる環境試料測定
- コ 環境試料の採取・簡易測定・搬送および仮設機器の設置・運用・撤収
- サ オフサイトセンター機能班（放射線班）との連携

(6) 緊急被ばく医療措置訓練

- ア 緊急時医療本部等の運営
- イ 若狭健康福祉センターにおける後方支援の実施
- ウ 医療資機材の搬送および点検
- エ ヨウ素剤搬送および調剤
- オ スクリーニング
- カ 除染・検査、救急医療、救急搬送 [救急車、ヘリコプター]
- キ 杉田玄白記念公立小浜病院（初期被ばく医療機関）、県立病院緊急時医療対策施設（二次被ばく医療機関）、福井大学医学部附属病院（二次被ばく医療支援機関）への搬送
- ク 県立病院緊急時医療対策施設（二次被ばく医療機関）から専門医の現地派遣
- ケ 広島大学（三次被ばく医療機関）との連携
- コ 避難所における心とからだの健康相談窓口の設置
- サ 地域住民等に対する講習会の実施

(7) 住民避難・退避訓練

- ア 自衛隊車両、民間バス等による住民等の陸路からの避難・退避
- イ 防災関係機関のヘリコプターによる住民等の空路からの避難
- ウ 海上保安庁巡視船、漁船、遊覧船、県船舶による住民等の海路からの避難
- エ 福祉車両による災害時要援護者の避難・退避
- オ 一時滞在者の自家用車による避難および誘導
- カ 避難遅延の一時滞在者の救助
- キ 防災関係機関の連携による避難
- ク 避難区域内の現地防災情報センターの設置・運営

(8) 避難所等運営訓練

- ア 被災地住民の登録
- イ 避難住民への事故状況説明の実施
- ウ 避難所・救護所の設置運営
- エ 飲料水・飲食物の供給
- オ 災害用伝言ダイヤルの活用
- カ 避難所への原子力防災センター内画像等の伝送
- キ 手話通訳、外国語通訳の配置

(9) 広報訓練

- ア 報道機関への報道要請
- イ ケーブルテレビ、屋外拡声器、広報車、船舶、航空機等による地域住民等への広報

(10) 交通対策等措置訓練

- ア 交通規制措置（陸上・海上）

イ 立入制限措置

ウ 一時滞在者に関する情報収集および交通制限

(11) 避難地域に対する関係機関の対応訓練

Ⅲ 過去5年間の総合防災訓練等の実施 ※このほか、適宜図上訓練等を実施している。

| 種別 | 年度 | 18 | 19 | 20 | 21 | 22 |
|-------------------------|------------|------------------------------------|---------------------------|---|---|---------------------------|
| 総合防災訓練 | 日時 | 平成18年9月3日(日) | 平成19年8月26日(日) | 平成20年9月7日(日)(当日中止) | 平成21年10月18日(日) | 平成22年8月29日(日) |
| | 場所 | 小浜市川崎地区(小浜漁港) | 福井市下桑田地区(九頭竜川緑地多目的広場) | 南越前町今庄365スキ一場 | テクノポート福井 福井空港、福井県庁 他 | 春日野工業団地 奥越ふれあい公園 他 |
| | 主催 | 福井県、嶺南地域各市町 | 福井県、福井、坂井地域各市町 | 福井県、丹南地域各市町 | 近畿2府7県、各府県消防協会、 福井市、坂井市、あわら市、永平寺町 他 | 福井県、大野市、勝山市 |
| | 参加機関 | 81 | 77 | 78 | 200 | 77 |
| | 訓練種目 | 26 | 25 | 36 | 40 | 35 |
| | 想定 | 地震による災害(津波を含む) | 地震による災害 | 地震による災害 ※大雨・洪水警報発令のため、住民避難訓練と防災研修会のみ実施 | 地震による災害 | 大雨と地震による災害 |
| | 参加人員 | 1,644 | 2,800 | 480 | 3,600 | 1,600 |
| | 日時 | 平成18年5月28日(日) | | | | |
| | 場所 | 福井嶺南地区石油コンビナート等 特別防災区域およびその周辺海域 | | | | |
| | 主催 | 福井県石油コンビナート等防災本部 | | | | |
| 石油 コンビナート等 総合防災訓練 | 参加機関 | 27 | | | | |
| | 訓練種目 | 27 | | | | |
| | 想定 | 船舶火災、タンク火災 | | | | |
| | 参加人員 | 1,060 | | | | |
| | 日時 | 平成18年11月19日(日) | 平成19年11月18日(日) | 平成20年10月25日(土) | 平成21年11月22日(日) | 平成22年10月26日(火) |
| | 訓練 対象施設 | 関西電力(株) 大飯発電所1号機 | 日本原子力発電(株) 敦賀発電所2号機 | 関西電力(株) 高浜発電所3号機 | 関西電力(株) 美浜発電所3号機 | 関西電力(株) 大飯発電所4号機 |
| | 主催 | 福井県、おおい町、小浜市、高浜町 | 福井県、敦賀市、美浜町、南越前町 | 福井県、高浜町、おおい町 | 福井県、美浜町、敦賀市 | 福井県、おおい町、小浜市、高浜町 |
| | 参加機関 | 105 | 115 | 120 | 120 | 120 |
| | 訓練種目 | 10 | 10 | 13 | 11 | 11 |
| | 想定 | 放射性物質放出 周辺環境に影響を及ぼすおそれ | 放射性物質放出 周辺環境に影響を及ぼすおそれ | 放射性物質放出 周辺環境に影響を及ぼすおそれ | 放射性物質放出 周辺環境に影響を及ぼすおそれ | 放射性物質放出 周辺環境に影響を及ぼすおそれ |
| 参加人員 | 1,600 | 1,500 | 2,000 | 1,500 | 1,500 | |
| 日時 | | | | | | |
| 場所 | | | | | | |
| 主催 | | | | | | |
| 参加機関 | | | | | | |
| 訓練種目 | | | | | | |
| 想定 | | | | | | |
| 参加人員 | | | | | | |
| 国民保護訓練 | 種別 | | | | | |
| | 年度 | | | | | |
| | 18 | | | | | |
| | 19 | | | | | |
| | 20 | | | | | |
| | 21 | | | | | |
| | 22 | | | | | |
| | 日時 | | | | | |
| | 場所 | | | | | |
| | 主催 | | | | | |
| 参加機関 | | | | | | |
| 訓練種目 | | | | | | |
| 想定 | | | | | | |
| 参加人員 | | | | | | |

IV 市町別自主防災組織の結成状況

平成23年4月1日現在

| | 管内世帯数 (A) | 自主防災組織 の組織数 | 隊員数 | 組織されている 地域の世帯数 (B) | 組織率 (B/A) |
|-----------|--------------|----------------|---------|--------------------------|--------------|
| 福 井 市 | 94,392 | 1,131 | 77,022 | 77,022 | 81.6% |
| 敦 賀 市 | 27,509 | 84 | 2,670 | 22,271 | 81.0% |
| 小 浜 市 | 11,674 | 85 | 865 | 6,020 | 51.6% |
| 大 野 市 | 11,656 | 199 | 6,074 | 9,916 | 85.1% |
| 勝 山 市 | 7,991 | 107 | 1,433 | 6,876 | 86.0% |
| 鯖 江 市 | 21,509 | 149 | 7,103 | 20,907 | 97.2% |
| あ わ ら 市 | 9,929 | 44 | 1,601 | 5,161 | 52.0% |
| 越 前 市 | 26,900 | 238 | 9,520 | 26,422 | 98.2% |
| 坂 井 市 | 28,926 | 311 | 3,016 | 20,060 | 69.3% |
| 永 平 寺 町 | 5,965 | 90 | 3,298 | 5,508 | 92.3% |
| 池 田 町 | 1,062 | 21 | 160 | 787 | 74.1% |
| 南 越 前 町 | 3,511 | 68 | 856 | 3,503 | 99.8% |
| 越 前 町 | 7,287 | 45 | 861 | 4,896 | 67.2% |
| 美 浜 町 | 3,721 | 14 | 154 | 1,807 | 48.6% |
| 高 浜 町 | 4,060 | 5 | 102 | 290 | 7.1% |
| お お い 町 | 3,123 | 6 | 66 | 484 | 15.5% |
| 若 狭 町 | 4,941 | 97 | 1,505 | 4,419 | 89.4% |
| 合計・ 平均 | 274,156 | 2,694 | 116,306 | 216,349 | 78.9% |

※管内世帯数は、住民基本台帳人口に基づく人口、世帯数調べ（平成23年3月末現在）

第4章 平成22年度防災行政無線利用状況

概 況

平成10年4月から運用を開始した福井県防災情報ネットワークは、デジタル多重回線や衛星回線による2ルート化等の特色を持っており、同年10月には衛星車載局を加え、災害現場からの映像による情報伝達が可能となるなど通信体制がより強化され、県の防災対策において大きな役割を果たしてきた。平成19年度には、60MHzから260MHzへの周波数移行に伴い防災情報ネットワーク再整備工事を実施することにより、本ネットワークは、衛星回線、多重無線回線、260MHzデジタル通信回線、260MHzヘリ用通信回線、150MHzアナログ移動回線で構成されるようになった。一般行政事務用として電話・FAXに使われると共に、県の行政情報ネットワークや各種テレメータにも活用されている。

今後とも、災害時において防災行政無線を利用したの情報収集・伝達活動が迅速に行えるよう、定期的に通信訓練を行っていく。また、全局を対象に機器の保守点検を実施し、その際には現地で各局の防災行政無線担当者に対し機器操作の指導等を行い、防災関係機関との連携をより強化していく。

1 無線局の現況

防災行政無線局等一覧 (平成23年4月1日現在)

〔固定系〕

| 区 分 | 局 数 | | 設 置 場 所 |
|-------------|----------------------|---|--|
| | 地上系 | 衛星系 | |
| 統 制 局 | 1 | 1 | 県庁 |
| 中 継 局 | 7 | | 越知山 (越前町大谷寺) 久須夜ヶ岳 (小浜市堅海) 村国山 (越前市村国) 陣ヶ岡 (坂井市三国町陣ヶ岡) 八ツ杉 (越前市別印) 岳山 (三方郡美浜町早瀬) 青葉山 (大飯郡高浜町中山) |
| 支 部 局 | 10 | | 10土木事務所 (福井、三国、大野、勝山、鯖江、武生、今立、朝日、敦賀、小浜) |
| 合 庁 局 | 3 | | 3合同庁舎 (福井、丹生、坂井) |
| ダム管等局 | 10 | | 原子力センター (敦賀市吉河) 龍ヶ鼻ダム管 (坂井市丸岡町上竹田) 龍ヶ鼻ダム下流事務所 (坂井市丸岡町長畝) 永平寺ダム (永平寺町志比) 笹生川ダム管 (大野市中野) 笹生川堰堤 (大野市本戸) 広野ダム管 (南越前町今庄) 広野堰堤 (南越前町広野) 榊谷ダム (南越前町宇津尾) 浄土寺川ダム (勝山市村岡町浄土寺) |
| 小 計 | 31 | 1 | |
| 端 末 局 | 県出先機関 | 16 | 16：健康福祉センター (福井、坂井、奥越、丹南、二州、若狭) 武生福祉保健部、県立病院、越前漁港、福井港湾 敦賀港湾、福井空港、環境センター、防災航空事務所 坂井上水、日野川上水 |
| | 市 町 | 33 | 9市：福井、敦賀、小浜、大野、勝山、鯖江、あわら、越前、坂井 |
| | | | 8町：永平寺、池田、南越前、越前、美浜、高浜、おおい、若狭 |
| | | | 11旧町：美山、清水、今立、丸岡、三国、春江、永平寺、今庄、越前、織田、上中 |
| | 5旧村：越廼、和泉、上志比、河野、名田庄 | | |
| | 消防本部 | 9 | 9 消防本部 (福井、嶺北、永平寺、大野、勝山、鯖江丹生、南越、敦賀美方、若狭) |
| 国・公共機関等 | 15 | 15：福井气象台、鯖江自衛隊、舞鶴自衛隊、敦賀海保、福井海保 日赤福井、福井県医師会、福井火力、福井石油備蓄、原電敦賀 関電美浜・高浜・大飯、ふげん、もんじゅ | |
| 小 計 | | 73 | |
| 衛 星 車 載 | | 1 | |
| 可 搬 型 地 球 局 | | 1 | |
| 合 計 | 31 | 76 | |

[移動系]

| 区 分 | | 局 数 | 設 置 場 所 |
|---------------------------|-------------------------|--------------------------|--|
| 陸 上 基 地 局 | 全 県 移 動 260MHzデジタル | 11 | 県庁統制局 中継局 (越知山、久須夜ヶ岳、陣ヶ岡、村国山、岳山、青葉山、八ツ杉) 土木事務所 (勝山、敦賀) 笹生川ダム管 |
| | 第二全県移動 | 8 | 県 庁 中 継 局 (越知山、久須夜ヶ岳、村国山) 土木事務所 (三国、勝山、大野、敦賀) |
| | F W A (18GHz) | 1 | 土木事務所 (三国) |
| | 400MHz 防災相互 | 1 | 防災航空事務所 |
| | 計 | 21 | |
| 携帯基地局 (ヘリ用) 260MHzデジタル | | 5 | 中継局 (越知山、久須夜ヶ岳) 土木事務所 (三国、大野、敦賀) |
| 航 空 局 | | 4 | 防災航空事務所 (可搬用含む) |
| 陸 上 移 動 局 | 全 県 移 動 局 260MHzデジタル | 車載型 47 | 県庁 3台 土木事務所 42台 (福井6台、三国6台、大野4台、勝山3台、武生4台、 今立3台、朝日6台、敦賀4台、小浜6台) 防災航空事務所、衛星車載局 |
| | | 半固定型 39 | 県出先機関8台：健康福祉センター (福井、坂井、奥越、丹南、二州、若狭) 県立病院、防災航空事務所 |
| | | | 市9台：福井、敦賀、小浜、大野、勝山、鯖江、あわら、越前、坂井 |
| | | | 町8台：永平寺、池田、南越前、越前、美浜、高浜、おおい、若狭 |
| | | | 消防本部9台：福井、嶺北、永平寺、大野、勝山、鯖江丹生、南越、敦賀美方、若狭 防災関係機関5台：福井駅、NHK福井、福井放送、福井テレビ、FM福井 |
| | 携帯型 70 | 県庁 30台、敦賀土木 20台、小浜土木 20台 | |
| | 小 計 156 | | |
| | 第二全県移動局 | 車載型 17 | 県庁 14台、奥越合同庁舎、若狭合同庁舎、衛星車載局 |
| | | 可搬型 5 | 県庁 5台 |
| | | 小 計 22 | |
| | F W A (18GHz) | 1 | 陣ヶ岡中継局 |
| | 消 防 移 動 局 | 車載型 1 | 防災航空事務所 |
| | | 携帯型 8 | 県庁 2台、防災航空事務所 6台 |
| | | 小 計 9 | |
| 防 災 移 動 局 | 車載型 1 | 防災航空事務所、400MHz 防災相互 | |
| | 携帯型 5 | | |
| | 小 計 6 | | |
| 計 | 194 | | |
| 携 帯 局 (ヘリ用) | 防災用 1 | 防災ヘリコプター | |
| | 消防用 1 | " | |
| | 小 計 2 | | |
| 航 空 機 局 | 航行運航用 1 | | |
| 簡 易 無 線 局 | 2 | 簡易画像伝送装置 | |
| 合 計 | | 229 | |

2 利用状況

(1) 一般通話の利用状況

平成22年中

| 区 分 | 一年間の総計 | 一月当たりの平均使用回数 | 一局当たりの月平均使用回数 |
|----------|---------|--------------|---------------|
| 支 部 局 | 174,998 | 14,583 | (10局) 1,458 |
| 合庁・ダム管等局 | 86,664 | 7,222 | (18局) 401 |
| 県出先機関 | 5,754 | 480 | (17局) 28 |
| 市 町 | 1,665 | 139 | (33局) 4.2 |
| 消 防 本 部 | 263 | 22 | (9局) 2.4 |
| 国出先機関 | 29 | 2.4 | (5局) 0.5 |
| 公 共 機 関 | 96 | 8.0 | (9局) 0.9 |
| 原子力発電所 | 55 | 4.6 | (6局) 0.8 |
| 合 計 | 269,524 | 22,461 | (107局) 210 |

(2) 一斉指令の利用状況

[指令内容別]

平成22年中

| 区 分 | 気 象 関 係 | | | | 事務連絡 | テスト | 合 計 |
|--------|---------|------|-----|-------|------|-----|-------|
| | 警 報 | 注意報 | 情 報 | 計 | | | |
| 指令回数 | 123 | 1114 | 502 | 1,739 | 494 | 104 | 2,337 |
| 前年比(%) | 315 | 150 | 99 | 134 | 99 | 67 | 120 |

[指令種別]

平成22年中

| 区 分 | 全 県 | 支 部 | 市 町 | 消 防 | 支 部 支 市 町 | 合 計 |
|--------|-------|-----|-----|-----|--------------|-------|
| 指令回数 | 1,807 | 245 | 551 | 506 | 3 | 3,112 |
| 前年比(%) | 201 | 243 | 111 | 98 | — | 154 |

(3)一斉指令月別通信回数

| 区分 | 22年中 | | | | | | | | | | | | 計 |
|---------|------|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|------|
| | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 | |
| 気警報 | 8 | 1 | 0 | 2 | 0 | 0 | 64 | 14 | 17 | 1 | 6 | 10 | 123 |
| 内象注意報 | 86 | 61 | 76 | 73 | 42 | 104 | 242 | 110 | 89 | 63 | 82 | 86 | 1114 |
| 関係情報 | 81 | 93 | 75 | 28 | 22 | 10 | 52 | 26 | 43 | 22 | 39 | 11 | 502 |
| 内容小計 | 175 | 155 | 151 | 103 | 64 | 114 | 358 | 150 | 149 | 86 | 127 | 107 | 1739 |
| 事務連絡 | 32 | 46 | 13 | 38 | 31 | 47 | 79 | 51 | 44 | 24 | 35 | 54 | 494 |
| 別テス卜 | 19 | 13 | 5 | 8 | 5 | 5 | 15 | 14 | 6 | 6 | 2 | 6 | 104 |
| 計 | 226 | 214 | 169 | 149 | 100 | 166 | 452 | 215 | 199 | 116 | 164 | 167 | 2337 |
| 種類 | 69 | 52 | 144 | 89 | 56 | 114 | 289 | 243 | 224 | 149 | 100 | 278 | 1807 |
| 支部・合庁・他 | 22 | 8 | 4 | 12 | 25 | 28 | 41 | 28 | 25 | 10 | 21 | 21 | 245 |
| 市町一斉 | 20 | 38 | 25 | 49 | 42 | 26 | 97 | 66 | 45 | 38 | 47 | 58 | 551 |
| 消防一斉 | 35 | 49 | 19 | 46 | 49 | 43 | 65 | 55 | 36 | 24 | 36 | 49 | 506 |
| 支部市町一斉 | | | | | | 3 | | | | | | | 3 |
| 計 | 146 | 147 | 192 | 196 | 172 | 214 | 492 | 392 | 330 | 221 | 204 | 406 | 3112 |

3 多重局通信回数集計表

平成22年中

| | 1月 | 2月 | 3月 | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 計 |
|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|---------|
| 福井支部 | 2,560 | 2,493 | 3,280 | 3,862 | 3,231 | 3,686 | 3,081 | 2,824 | 3,207 | 3,088 | 3,068 | 3,108 | 37,488 |
| 三国支部 | 1,052 | 1,080 | 1,355 | 1,559 | 1,276 | 1,506 | 1,630 | 1,564 | 1,333 | 1,485 | 1,354 | 1,520 | 16,724 |
| 大野支部 | 1,488 | 1,453 | 1,976 | 2,226 | 1,592 | 1,835 | 1,562 | 1,516 | 1,334 | 1,485 | 1,361 | 1,398 | 19,226 |
| 勝山支部 | 232 | 215 | 235 | 304 | 259 | 436 | 514 | 399 | 293 | 318 | 412 | 403 | 4,020 |
| 鯖江支部 | 4 | 0 | 3 | 0 | 0 | 4 | 5 | 0 | 14 | 0 | 2 | 4 | 36 |
| 武生支部 | 2,142 | 2,399 | 2,923 | 3,380 | 2,560 | 3,165 | 2,768 | 2,361 | 2,454 | 2,744 | 2,699 | 2,528 | 32,123 |
| 今立支部 | 3 | 0 | 0 | 1 | 0 | 4 | 4 | 16 | 0 | 0 | 0 | 4 | 32 |
| 朝日支部 | 1,508 | 1,409 | 1,731 | 1,999 | 1,423 | 1,769 | 1,805 | 1,466 | 1,713 | 1,590 | 1,750 | 1,640 | 19,803 |
| 敦賀支部 | 1,357 | 1,348 | 1,808 | 2,013 | 1,462 | 1,853 | 1,507 | 1,400 | 1,461 | 1,451 | 1,426 | 1,509 | 18,595 |
| 小浜支部 | 1,876 | 1,909 | 2,653 | 2,948 | 2,328 | 2,547 | 2,255 | 2,231 | 2,020 | 2,127 | 2,038 | 2,019 | 26,951 |
| 福井合庁 | 2,921 | 3,271 | 4,611 | 5,443 | 4,020 | 4,598 | 3,757 | 3,705 | 3,517 | 3,605 | 3,665 | 3,273 | 46,386 |
| 坂井合庁 | 1,051 | 996 | 1,244 | 1,642 | 1,277 | 1,552 | 1,388 | 1,313 | 1,204 | 1,349 | 1,203 | 1,188 | 15,407 |
| 奥越合庁 | 238 | 222 | 427 | 176 | 163 | 199 | 158 | 106 | 209 | 219 | 223 | 163 | 2,503 |
| 南越合庁 | 804 | 822 | 936 | 1,355 | 1,047 | 1,310 | 1,176 | 1,060 | 973 | 1,051 | 931 | 938 | 12,403 |
| 敦賀合庁 | 62 | 77 | 80 | 87 | 93 | 34 | 57 | 43 | 52 | 43 | 47 | 34 | 709 |
| 若狭合庁 | 0 | 0 | 3 | 3 | 2 | 7 | 5 | 2 | 3 | 2 | 3 | 1 | 31 |
| 丹生合庁 | 355 | 404 | 490 | 517 | 445 | 384 | 434 | 388 | 323 | 391 | 388 | 342 | 4,861 |
| 原子カセンタ | 197 | 254 | 443 | 114 | 100 | 80 | 138 | 110 | 91 | 128 | 118 | 160 | 1,933 |
| 笹生川ダム | 85 | 124 | 167 | 81 | 117 | 73 | 91 | 81 | 107 | 70 | 72 | 89 | 1,157 |
| 広野ダム | 0 | 1 | 4 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 | 0 | 0 | 6 |
| 広野堰堤 | 31 | 27 | 40 | 14 | 11 | 10 | 13 | 6 | 4 | 10 | 4 | 7 | 177 |
| 真名川発電 | 65 | 72 | 83 | 3 | 1 | 0 | 3 | 1 | 1 | 4 | 0 | 2 | 235 |
| 奥越発電 | 1 | 4 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 3 | 0 | 0 | 8 |
| 龍ヶ鼻ダム | 49 | 92 | 80 | 52 | 60 | 76 | 73 | 60 | 56 | 52 | 46 | 48 | 744 |
| 浄土寺川ダム | 2 | 1 | 4 | 27 | 2 | 6 | 5 | 0 | 1 | 2 | 4 | 0 | 54 |
| 永平寺ダム | 3 | 0 | 0 | 2 | 2 | 0 | 5 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 13 |
| 笹生川堰堤 | 0 | 0 | 0 | 5 | 0 | 1 | 0 | 1 | 1 | 0 | 0 | 0 | 8 |
| 榊谷ダム | 2 | 2 | 3 | 2 | 1 | 2 | 2 | 0 | 6 | 3 | 1 | 5 | 29 |
| 計 | 18,088 | 18,675 | 24,579 | 27,825 | 21,472 | 25,137 | 22,436 | 20,654 | 20,377 | 21,221 | 20,815 | 20,383 | 261,662 |

4 端末局無線通信回数調

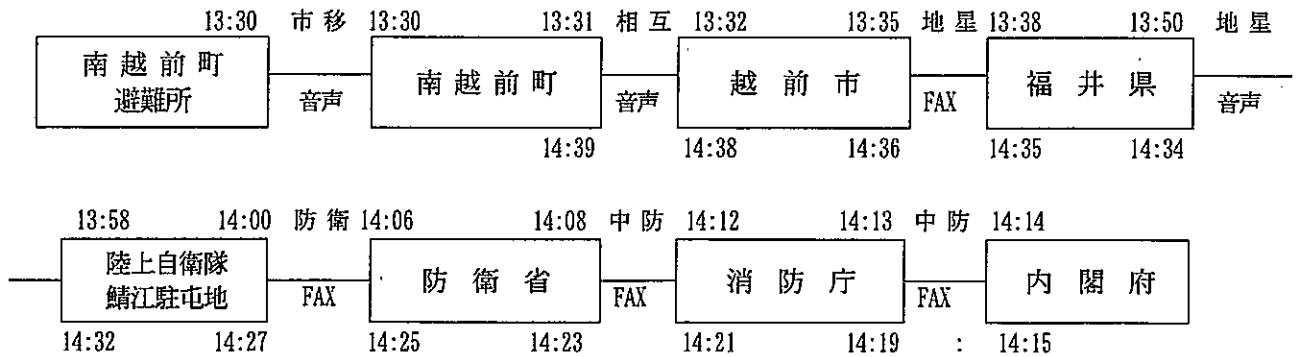
平成22年中

| 無 線 局 | 通 信 回 数 | 無 線 局 | 通 信 回 数 | 無 線 局 | 通 信 回 数 |
|---------------|---------|---------------|---------|---------------|---------|
| 福 井 市 | 244 | 衛 生 環 境 | 1687 | 福 井 気 象 台 | 7 |
| 福 井 市 美 山 | 10 | 福 井 保 健 | 39 | 鯖 江 自 衛 隊 | 8 |
| 福 井 市 清 水 | 9 | 坂 井 保 健 | 97 | 舞 鶴 自 衛 隊 | 5 |
| 福 井 市 越 廼 | 8 | 大 野 保 健 | 30 | 敦 賀 海 保 | 7 |
| 敦 賀 市 | 135 | 鯖 江 保 健 | 70 | 三 国 海 保 | 2 |
| 小 浜 市 | 129 | 武 生 保 健 | 16 | 国 出 先 計 | 29 |
| 大 野 市 | 49 | 二 州 保 健 | 114 | 福 井 駅 | 11 |
| 大 野 市 和 泉 | 6 | 若 狭 保 健 | 26 | N H K | 16 |
| 勝 山 市 | 146 | 県 立 病 院 | 67 | 福 井 テ レ ビ | 14 |
| 鯖 江 市 | 37 | 越 前 漁 港 | 724 | 福 井 放 送 | 12 |
| あ わ ら 市 | 126 | 福 井 港 湾 | 699 | F M 福 井 | 12 |
| 越 前 市 | 41 | 敦 賀 港 湾 | 1906 | 日 赤 福 井 | 3 |
| 越 前 市 今 立 | 16 | 福 井 空 港 | 30 | 福 井 県 医 師 会 | 2 |
| 坂 井 市 | 54 | 中 島 発 電 | 0 | 福 井 火 力 | 5 |
| 坂 井 市 三 国 | 29 | 滝 波 発 電 | 124 | 福 井 備 蓄 | 21 |
| 坂 井 市 丸 岡 | 24 | 坂 井 上 水 | 78 | 公 共 機 関 計 | 96 |
| 坂 井 市 春 江 | 19 | 防 災 航 空 事 務 所 | 47 | 原 電 敦 賀 | 8 |
| 市 計 | 1,082 | 県 出 先 計 | 5,754 | 関 電 美 浜 | 12 |
| 永 平 寺 町 | 44 | 福 井 消 防 | 34 | 関 電 高 浜 | 5 |
| 永 平 寺 町 永 平 寺 | 0 | 大 野 消 防 | 36 | 関 電 大 飯 | 9 |
| 永 平 寺 町 上 志 比 | 8 | 勝 山 消 防 | 21 | 「サイクル機構」ふげん | 6 |
| 池 田 町 | 38 | 永 平 寺 消 防 | 22 | 「サイクル機構」もんじゅ | 15 |
| 南 越 前 町 | 49 | 嶺 北 消 防 | 40 | 原 子 力 発 電 所 計 | 55 |
| 南 越 前 町 今 庄 | 10 | 鯖 江 丹 生 消 防 | 22 | | |
| 南 越 前 町 河 野 | 7 | 南 越 消 防 | 30 | | |
| 越 前 町 | 101 | 敦 賀 美 方 消 防 | 28 | | |
| 越 前 町 越 前 | 32 | 若 狭 消 防 | 30 | | |
| 越 前 町 織 田 | 7 | 消 防 計 | 263 | | |
| 美 浜 町 | 41 | | | | |
| 高 浜 町 | 79 | | | | |
| お お い 町 | 78 | | | | |
| お お い 町 名 田 庄 | 37 | | | | |
| 若 狭 町 | 44 | | | | |
| 若 狭 町 上 中 | 8 | | | | |
| 町 村 計 | 583 | | | | |
| 市 町 村 計 | 1,665 | | | 合 計 | 7,862 |

5 非常無線通信実施状況

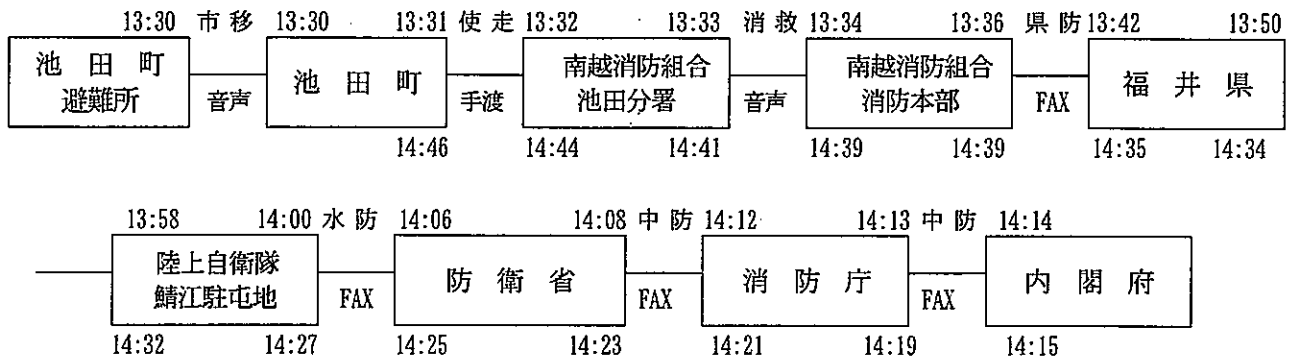
(1) 平成22年度第73回春期全国非常通信訓練（平成22年6月30日）

越前市から福井県知事あて、福井県知事から内閣府へ往復信



所要時間 往信 44分 復信 24分

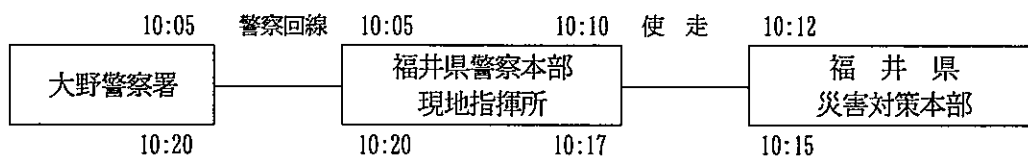
池田町長から福井県知事あて、福井県知事から内閣府へ往復信



所要時間 往信 44分 復信 31分:

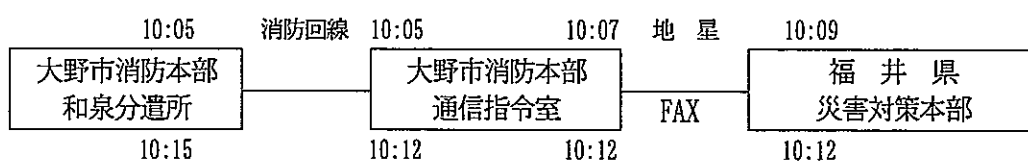
(2) 平成22年度 第1回福井県非常通信訓練（平成22年8月29日）

大野警察署長から福井県災害対策本部長へ往復信



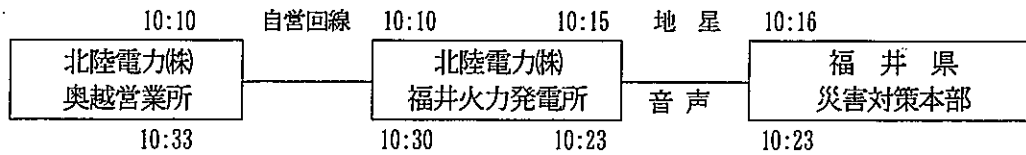
所要時間 往信 7分 復信 5分

大野市消防本部和泉分遣所長から福井県災害対策本部長へ往復信



所要時間 往信 4分 復信 3分

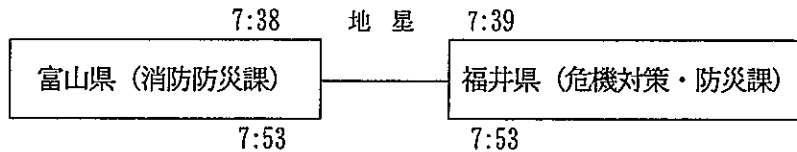
北陸電力(株)奥越営業所から福井県災害対策本部長へ往復信



所要時間 往信 6分 復信 10分

(3) 平成22年度 富山県非常通信訓練 (平成22年9月4日)

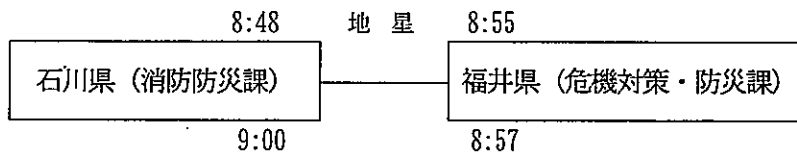
富山県知事から福井県知事あて往復信



所要時間 往信 1分 復信 0分

(4) 平成22年度 石川県非常通信訓練 (平成22年9月5日)

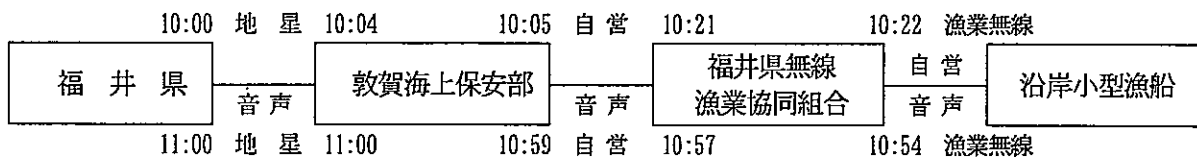
石川県知事から福井県知事あて往復信



所要時間 往信 9分 復信 2分

(5) 原子力防災総合訓練

①. 福井県から福井県無線漁業協同組合へ往復信



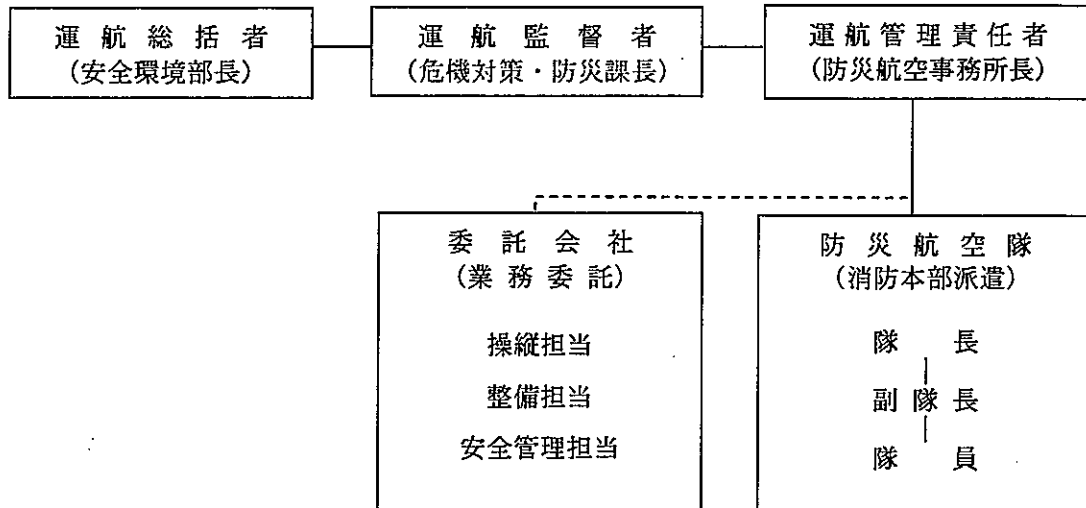
所要時間 往信 22分 復信 6分

第5章 防災ヘリコプターの運航体制

1 運航基地

福井空港内福井県防災航空事務所

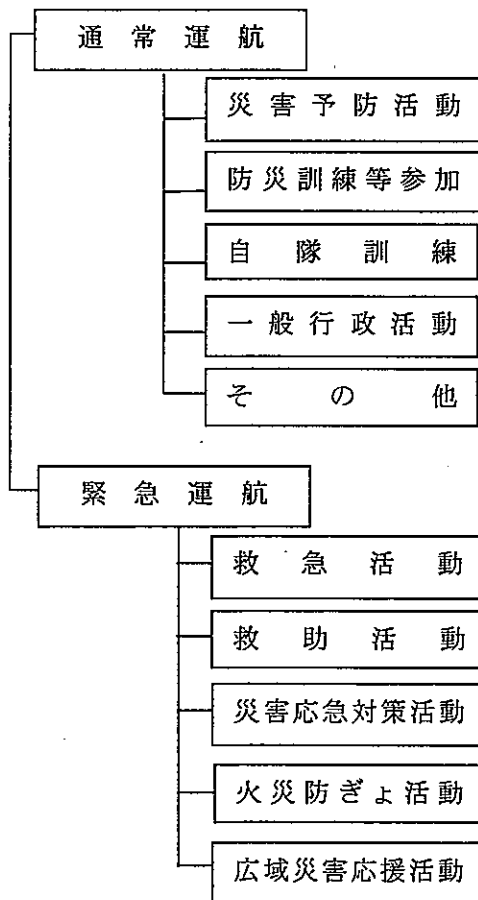
2 組織図



3 運航時間

毎日、午前8時30分から午後5時15分まで
(ただし、緊急運航の場合は日の出から日没まで)

4 活動業務



Blue Arrow 主要性能

| | |
|----------------|------------|
| 機種 | 川崎BK117C-1 |
| メーカー (製造国) | 川崎重工業 (日本) |
| エンジン最大出力 | 1,384SHP |
| エンジン基数 | 2基 |
| 搭乗人員 | 11人 |
| 最大全備重量 | 3,350kg |
| 最大搭載可能重量 | 1,586kg |
| 航続距離 (機外タンク使用) | 740km |
| 担架搬入装置 | 4基 |
| ホイスト装置 | 270kg |
| 貨物吊り下げ装置 | 1,300kg |
| 全長 | 13.00m |
| 全高 | 3.85m |
| 最大速度 | 278km/h |
| 航続時間 | 3.3h |
| 着陸方式 | スキッド方式 |

第1表 福井県防災ヘリコプター運航実績表（年度別）

| | 緊急運航 | | | | | | 通常運航 | | | | | | 合計 | |
|--------|-------------|-------|-------|------|--------|-------|--------|--------|------------------|------------------|-------|-------|-------|--------|
| | 救急 | 救助 | 災害応急 | 火災防衛 | 広域災害応援 | 計 | 自隊訓練 | 防災訓練参加 | 災害予防活動 危険箇所調査 | 災害予防活動 災害予防広報 | 一般行政 | 整備 | | その他 |
| 平成13年度 | 件数 12 | 13 | | 6 | 2 | 33 | 113 | 48 | 9 | 24 | 34 | 19 | 5 | 285 |
| | 時間 18:22 | 11:21 | | 9:45 | 16:05 | 55:33 | 138:40 | 39:35 | 13:00 | 34:30 | 28:10 | 9:35 | 5:45 | 324:48 |
| 平成14年度 | 件数 18 | 21 | 3 | 1 | 4 | 47 | 91 | 57 | 10 | 5 | 25 | 4 | 4 | 243 |
| | 時間 15:14 | 24:45 | 4:55 | 0:10 | 7:52 | 52:56 | 110:01 | 48:39 | 11:50 | 8:55 | 26:29 | 1:30 | 9:02 | 269:22 |
| 平成15年度 | 件数 25 | 29 | | 1 | 2 | 57 | 140 | 58 | 6 | 7 | 19 | 3 | 5 | 295 |
| | 時間 16:10 | 16:20 | | 0:35 | 2:15 | 35:20 | 180:41 | 51:55 | 7:20 | 12:35 | 19:46 | 7:07 | 2:20 | 317:04 |
| 平成16年度 | 件数 32 | 32 | 5 | 5 | 9 | 83 | 91 | 44 | 7 | 2 | 7 | 7 | 3 | 244 |
| | 時間 23:17 | 36:59 | 13:00 | 5:27 | 19:22 | 98:05 | 109:25 | 38:15 | 9:23 | 6:12 | 10:05 | 10:20 | 2:02 | 283:47 |
| 平成17年度 | 件数 36 | 27 | | 4 | 8 | 75 | 98 | 38 | | 6 | 11 | 5 | 2 | 235 |
| | 時間 27:24 | 18:46 | | 4:09 | 11:19 | 61:38 | 135:21 | 30:20 | | 11:30 | 13:07 | 7:40 | 1:26 | 261:02 |
| 平成18年度 | 件数 35 | 26 | 4 | | 1 | 66 | 96 | 43 | | 3 | 16 | 6 | 3 | 233 |
| | 時間 25:00 | 27:31 | 3:26 | | 1:08 | 57:05 | 131:13 | 37:04 | | 5:00 | 19:28 | 2:09 | 2:19 | 254:18 |
| 平成19年度 | 件数 36 | 37 | | 3 | 2 | 78 | 107 | 60 | | 3 | 9 | 19 | 6 | 282 |
| | 時間 18:15 | 40:29 | | 8:27 | 1:02 | 68:13 | 148:44 | 58:03 | | 11:15 | 7:32 | 18:04 | 5:17 | 317:08 |
| 平成20年度 | 件数 34 | 27 | | | 7 | 68 | 96 | 48 | | 3 | 7 | 12 | 12 | 246 |
| | 時間 30:41 | 19:05 | | | 7:30 | 57:16 | 122:16 | 39:54 | | 11:17 | 6:22 | 9:36 | 14:09 | 260:50 |
| 平成21年度 | 件数 21 | 28 | | 3 | 15 | 67 | 82 | 45 | | 3 | 4 | 10 | 4 | 215 |
| | 時間 7:36 | 23:32 | | 1:01 | 31:21 | 63:30 | 127:17 | 34:06 | | 10:49 | 3:17 | 10:03 | 4:42 | 253:44 |
| 平成22年度 | 件数 22 | 26 | | | 15 | 63 | 128 | 40 | | 4 | 3 | 4 | 3 | 245 |
| | 時間 9:31 | 19:26 | | | 21:26 | 50:23 | 162:56 | 30:53 | | 10:24 | 4:57 | 7:21 | 2:46 | 269:40 |

※年間の飛行時間は300時間が限度であるが、耐空検査を年度中に実施しているため、年度合計は300時間を超える場合がある

第6章 衛星車載局の運用体制

1 収 容

福井県消防学校内

2 運用組織図

| | | |
|----------------------|------------------------------------|----------|
| 使用管理者 (危機対策・防災課長) | 運用統括責任者：運用総括業務 | 1名 |
| | 通信機器操作員：通信機器類の操作、調整 県庁統制局の操作、調整 | 2名 1名 |
| | 情報収集伝達員：情報の収集、伝達 | 2名 |

3 運 用

非常時の運用

災害発生もしくは発生する恐れがあるときに、災害の予防、被災後の救助および復旧などの災害対策等に必要な情報の収集・伝達を行う。

平常時の運用

業務、事業、イベント等の紹介を行う。

非常時および平常時とも映像情報の伝送を可能としていることにより、より詳細な状況の把握、広報等が可能である。

4 主な仕様

<アンテナ装置>

| | | |
|------|---|------------|
| 反射鏡部 | オフセットパラボラ | 有効開口径 1.8m |
| 駆動部 | 電動/手動 | |
| 衛星捕捉 | GPS等各種センサーおよび送受信装置受信偏波特性比較機による完全自動衛星捕捉が可能 | |

<送受信装置>

| | | |
|------------|--------|--------------|
| 画像系電力増幅部 | 飽和最大出力 | 300W以上 (TWT) |
| 個別通信系電力増幅部 | 飽和最大出力 | 40W以上 (SSPA) |

<端局装置>

| | | |
|------------|-----------------------------|-----|
| 実装チャンネル数 | 個別最大通信回線用 | 4CH |
| | 一斉指令用 | 1CH |
| | デジタル画像送信用 | 1CH |
| | デジタル画像受信用 | 1CH |
| | デジタル画像(準動画)用 | 1CH |
| デジタル画像変復調部 | 動 画：6 Mbps | |
| | 準動画：64 kbps / 384 kbps 切替可能 | |

<一斉指令装置>

| | |
|---------|---|
| 一斉指令種 別 | 衛星系端末局向けに音声・FAXによる発令可能 全対象局一斉、全市町村一斉、全消防一斉、地域/区分指定、個別局指定 |
|---------|---|

<その他端末装置>

| | |
|---------------|------------------------|
| 全県移動車載型無線装置 | 260MHz デジタル通信 複信方式 |
| 第二全県移動車載型無線装置 | 150MHz 複信方式 (または半複信方式) |
| 衛星自動車電話 | 衛星携帯・自動車電話対応 |
| 簡易画像伝送装置 | 50GHz 帯回線構成での画像伝送 |